

公益社団法人日本グラフィックデザイン協会
 107-6208 東京都港区赤坂9-7-1
 ミッドタウン・タワー5F
 TEL: 03-5770-7509
 FAX: 03-3479-7509

2021年7月12日

公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会

Japan Graphic Design Association Inc.
 Midtown Tower 5F, 9-7-1 Akasaka,
 Minato-ku, Tokyo, 107-6205 Japan
 TEL: +81-3-5770-7509
 FAX: +81-3-3479-7509

www.jagda.or.jp
 jagda@jagda.or.jp

平和を祈念するポスターキャンペーン 「ヒロシマ・アピールズ」ポスター2021が完成 大貫卓也氏がデザイン

公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)と一般財団法人広島国際文化財団は1983年より、言葉を超えて“ヒロシマの心”を訴えるポスターを共同制作し、国内外に向けて平和を呼びかけるキャンペーン「ヒロシマ・アピールズ」を主催・実施しています(2013年より公益財団法人ヒロシマ平和創造基金を加えた3団体の主催)。

この度、大貫卓也氏のデザインによる2021年版ポスターが完成し、7月9日(金)、広島市役所において、大貫氏から小池信之広島副市長に贈呈されました。また、一般販売も開始いたしましたので、ぜひ貴媒体にてご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。

●「ヒロシマ・アピールズ」ポスターについて

1983年、第1回作品として、当時JAGDA会長の故・亀倉雄策氏による「燃え落ちる蝶」を発表。その後、毎年JAGDAの会員1名がボランティアで1点ずつ新しいポスターを制作しています。ポスターは広島市長に贈呈されるほか、1985年にスイス・ジュネーブでの米ソ首脳会談前に開かれた原爆資料展、1997年の欧州ヒロシマ展で紹介されるなど、海外でも反響を呼びました。また、平和市長会議の加盟都市への寄贈や2016年G7広島外相会合プレスセンターでの展示、2019年に広島を訪問したローマ教皇への寄贈など、海外に向けて平和を希求する心を発信し続けています。

主催：公益財団法人ヒロシマ平和創造基金
 一般財団法人広島国際文化財団
 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA) 広島地区

協力：凸版印刷株式会社、株式会社竹尾

過去の制作者：

1983 亀倉雄策	1984 栗津 潔	1985 福田繁雄	1986 早川良雄
1987 永井一正	1988 田中一光	1989 勝井三雄	1990 石岡瑛子
2005 仲條正義	2006 佐藤晃一	2007 松永 真	2008 青葉益輝
2009 浅葉克己	2010 長友啓典	2011 遠藤 享	2012 奥村靱正
2013 葛西 薫	2014 井上嗣也	2015 佐藤 卓	2016 上條喬久
2017 原 研哉	2018 服部一成	2019 澁谷克彦	2020 渡邊良重

※過去の作品については、JAGDA広島地区ウェブサイトをご覧ください。
<http://hiroshima.jagda.or.jp>

●本件についてのお問い合わせ
 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)
 広報担当：坂田、諫山、近藤(pr@jagda.or.jp)



「ヒロシマ・アピールズ」ポスター2021

タイトル:「HIROSHIMA」

デザイン:大貫卓也

ポスター画像は、下記アドレスよりダウンロードできます。

(今回のヒロシマ・アピールズ報道に限り使用可能)

<http://hiroshima.jagda.or.jp/files/peace2021.jpg>

制作コメント:

長年、広告という多くの人へ伝えることを生業にしてきました。今日よりも、少しでも明るく楽しい未来を提示することが広告だと思っています。しかし今回、わたしは原子爆弾の脅威を今の若者へ歴史としてではなく、ライブ感をもって伝えることが、原爆という事実を風化させずに、心に刻むことになるのではないかと、そのほうが希望のある未来に協力することになるのではないかと考えました。原爆を体験した語り部が減少していく現在、原子爆弾という存在をきちんと後世へ伝えていくヒロシマ・アピールズという活動に関わることは表現者として身の引き締まる思いです。

今回のポスターはAR(拡張現実)を使用したポスターです。スノードームには平和の象徴である白い鳩が入っています。そして、通常ならスノードームには白い粉が封入されているものですが、この作品には黒い粉が封入されています。携帯をこのポスターにかざすことで、このポスターは動き出します(※)。それも、時間を巻き戻すように。やがて黒い粉がドームの中に充満し、平和が踏みじられた様子、戦争、原子爆弾、黒い雨などが想起され、戦争をリアルに感じることとなり、胸をしめつけられるかもしれません。その黒い粉はやがてゆっくりと地上に落ちてゆき、そこに微動だにしない白い鳩があらわれます。

スノードームとは本来、ゆっくりと雪が落ちてゆく様子を見ることで各々に自分なりのストーリーを想像させる、そんな装置でもあると思っています。この作品は、原子爆弾にリアリティーを持たなくなってしまった世代の若者へ、一瞬でも、考え、想像させる時間を持ってもらうための表現として考えています。さらに言えば、戦争や原爆についてガラス越しに俯瞰して眺めている人に対して気が付いてほしいこと。それは、ガラスに閉じ込められた白い鳩はまだ自由に飛び立ってはいないということ。白い鳩が、世界中で自由に飛び立つ日が来ることを願っています。

※スマートフォンでAR専用アプリ「aug!」をダウンロードし、アプリを開いてポスターにスマートフォンをかざすことで、ARポスターをご覧になれます。

作者略歴:大貫卓也 Takuya Onuki

1958年東京生まれ。1980年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。同年、博報堂入社。1993年大貫デザイン設立。としまえん、日清食品カップヌードル、ラフォーレ原宿、新潮文庫Yonda?、ペプシコーラPepsiman、資生堂TSUBAKI、SoftBankなど、多くのブランドコミュニケーションを行う。東京ADC賞・会員賞・会員最高賞・グランプリ(1981・1986・1987・1989~2002・2007・2018)、カンヌ国際広告映画祭グランプリ(1992)・金賞・銀賞(1993・1994・1995)、ニューヨークADC金賞(1992)・銀賞(1992・1993)、毎日デザイン賞、毎日広告デザイン賞最高賞、ほか受賞多数。

●ポスターの展示

「ヒロシマ平和ポスター展 PIECES FOR PEACE 2021」

- ・会 期：2021年7月13日(火)～7月17日(土) 11:00-19:00(初日は14:00から、最終日は17:00まで) ※入場無料
- ・会 場：旧日本銀行広島支店(広島市中区袋町5-21)
- ・展示作品：「ヒロシマ・アピールズ」ポスター2021年版および歴代の全作品などを展示

●ポスターの掲出

「ヒロシマ・アピールズ」ポスター2021を拡大出力し、広島市内のバス停に掲出します。

- ・期 間：2021年8月2日(月)～8月15日(日)
- ・場 所：広島市内のバス停(22カ所)
- ・協 力：エムシードゥコー株式会社



※昨年のバス停掲出の様子

●ポスターの販売

- ・サイズ：B1(728×1,030mm)
- ・価 格：1枚1,100円(税込) ※限定2,000枚
- ・販売店：広島平和記念資料館、JAGDA事務局(東京・六本木)、
JAGDA ONLINE SHOP(<https://shop.jagda.or.jp>)ほか

●ポスターの配布

- ・広島平和記念資料館(原爆資料館)、広島国際会議場、図書館など、広島市の施設へ配布
- ・広島市教育委員会を通じ、市立中学・高校へ配布
- ・「平和首長会議」国内加盟都市会議総会での配布

●公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(略称「JAGDA」)について

1978年設立。全国に約3,000名の会員を擁する日本で唯一のグラフィックデザイナーの全国組織。グラフィックデザインの力を通じたコミュニケーション環境の質的向上をめざし、年鑑やデザイン教科書の発行、展覧会やセミナーの開催、地域振興や公共デザインへの取り組み、デザインの権利保護など、多岐にわたる活動を全国的に展開。2021年7月1日より、名称を「公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会」から「公益社団法人日本グラフィックデザイン協会」に変更。